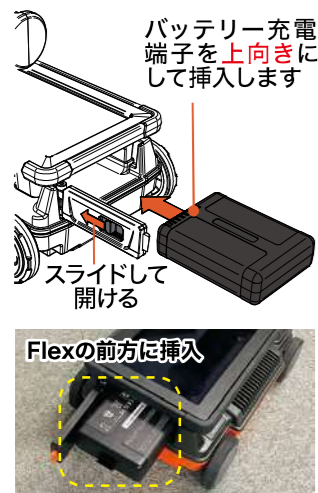
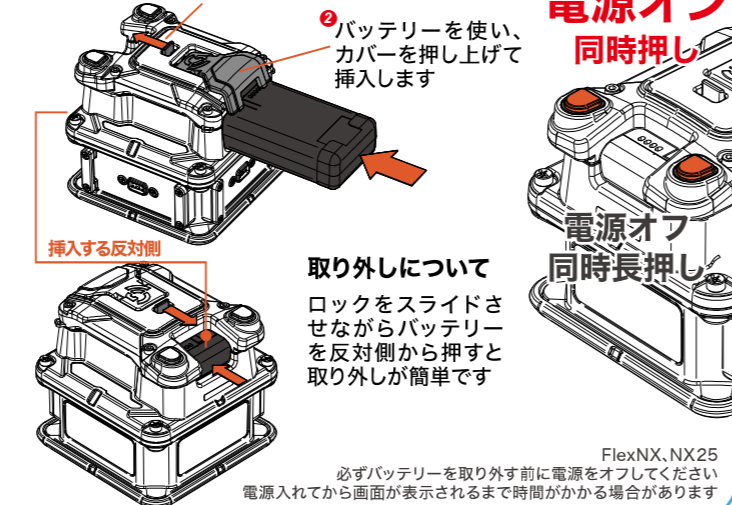


1-1 電源・バッテリーについて

FlexNX



NX25



1-2 NX25とのペアリングについて

■初めてFlexNXとNX25をペアリングする場合

1. FlexNXの電源を入れて、ダッシュボードが表示されるまで待ちます。
2. NX25の電源を入れます。NX25のLEDが赤色点灯・点滅します。
3. しばらくすると青色点滅に変わります。その状態でNX25とFlexNXのNFCラベルを接触させます。
4. 緑色点滅から緑色点灯になり、ダッシュボードにNX25が表示されたらペアリング完了です。※ダッシュボードへの反映まで少し時間がかかります

次回からは上記操作は不要です。FlexNXとNX25の電源を入れたら、自動的にペアリングされます。NX25が、緑色点灯・ダッシュボードにNX25が表示されるまでお待ちください。



1-3 2D探査開始まで

1. ダッシュボード画面で、任意のプロジェクトの **+** 探査開始アイコンを選択します。または、プロジェクト一覧画面から任意選択し、詳細画面から **+** スキャンを追加 を選択して2D探査開始します。
2. 次に【コンクリートタイプの選択】画面で **(弱乾燥 (比誘電率6.15))** を選択し、探査画面に移ります。

最近のプロジェクトから開始
ダッシュボード画面



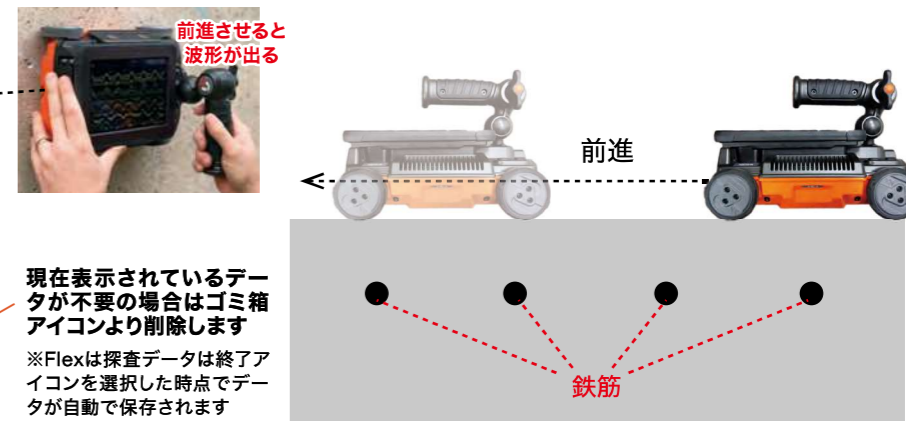
最近のプロジェクトにない場合...
プロジェクト一覧画面



コンクリートタイプの選択画面



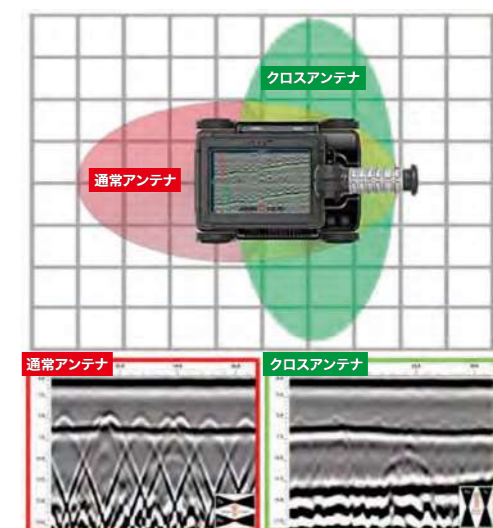
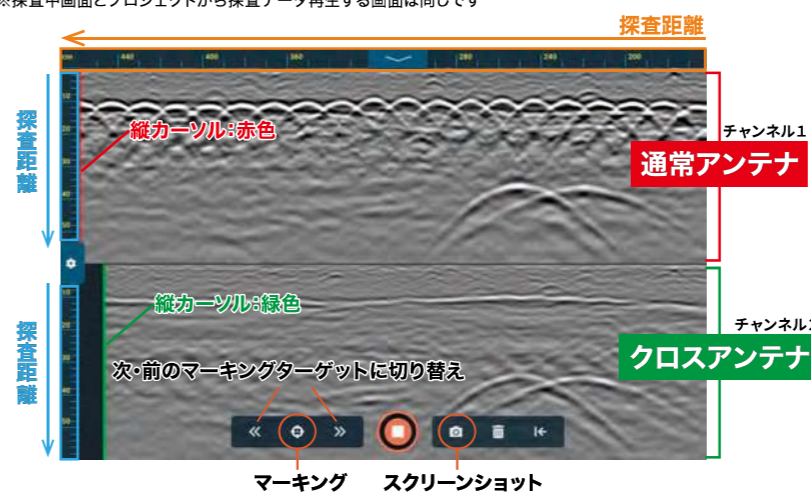
1-4 2D探査



2D探査結果画面

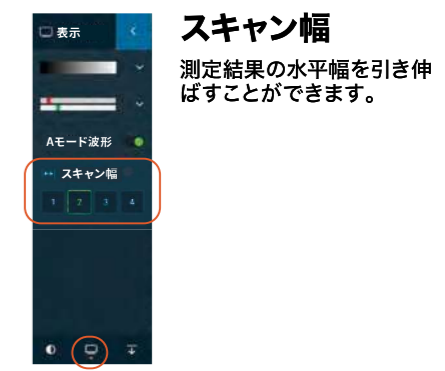
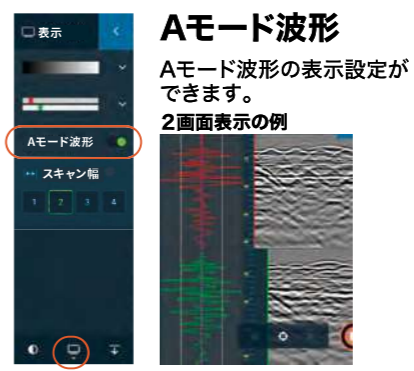
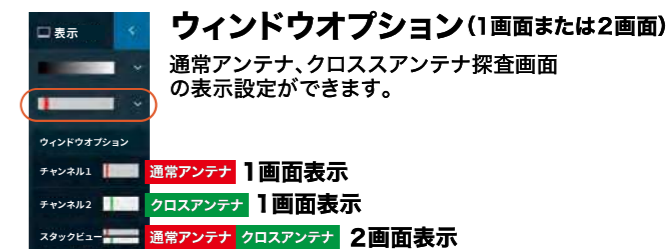
FlexNXで探査すると2チャンネル画面で探査されます (1チャンネル画面に変更も可能です)

※探査中画面とプロジェクトから探査データ再生する画面は同じです



クロススキャンは、鉄筋直下などの探査に長けており、隠れた埋設管探査に役立ちます

2D探査での設定 歯車アイコンから



裏面 続き 2D探査での設定 歯車アイコンから

深度設定
深さの測定値を調整できます。
※今後、自動深度機能を実装予定です。

深度オプション

- プリセット
- フィッティング
- 深度設定

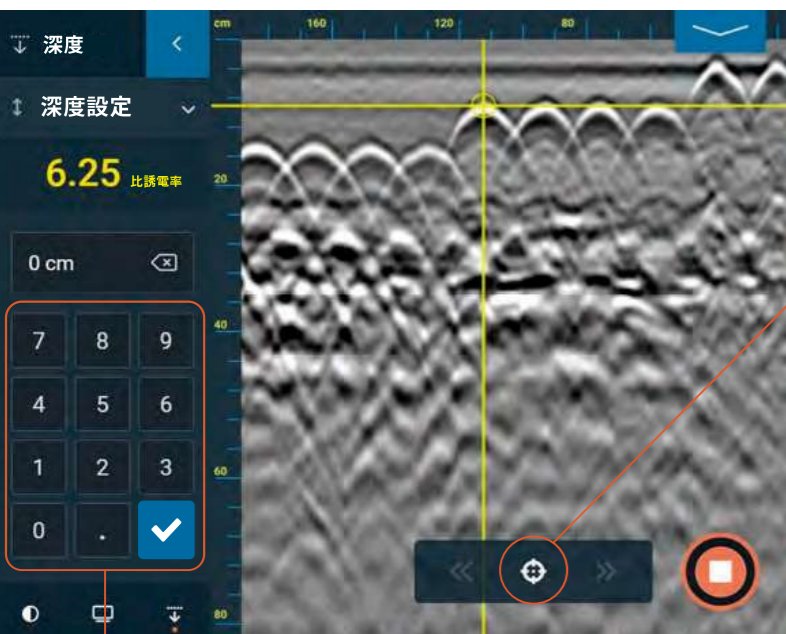
プリセット
4つの比誘電率から選択できます。

- 強乾燥 比誘電率 4.60
- 弱乾燥 比誘電率 6.15
- 弱湿潤 比誘電率 7.45
- 強湿潤 比誘電率 14.2



フィッティング (深さのわかっている鉄筋がない場合)

- カーブフィッティング機能で深度設定ができます。
- 鉄筋に対して直交に探査した、鮮明な山形波形を選び、ナビゲーションカーブ(ハイパーボラ)を重ね合わせます。
 - [比誘電率]を調整すると、カーブの形状が変化します。山形波形の立上り、立下りの角度とカーブの角度が同じになるように[比誘電率]を調整します。
- カーブフィッティングのコツ
山形波形の頭部ではなく、山形波形の立上り、立下りの角度に注目します。



深度設定 (深さのわかっている鉄筋がある場合)

- 深さの判明している鉄筋がある場合、こちらの深度設定を行ってください。かぶりが既知の鉄筋を用いて比誘電率を計算することができます。
- サイド歯車アイコンを選択する前にカーソルを深さのわかっている鉄筋などの山形波形にカーソルを合わせます。
カーソルはこのアイコンを選択すると表示されます
 - 歯車アイコンから【深度設定】に移動し、既知のかぶりを入力し、 チェックマークを選択して完了します。

1-5 データの再生

- プロジェクト一覧の画面に移ります
- 再生したいデータを保存したプロジェクトを選択します
- 再生したいデータを選択します

1-6 データの削除

- プロジェクト、ファイルの右上のチェックを選択します(複数可)
- ゴミ箱アイコンを選択すると、削除完了します
一度削除したものは元に戻すことはできません
操作に十分ご注意ください

1-7 データの外部出力について

USBドライブまたはwifiを使用して、プロジェクト単位で、モバイル端末またはパソコンにデータを転送できます。

- プロジェクトを選択、またはプロジェクト詳細画面から右上の3つの点アイコンを選択し、【転送】を選択します
プロジェクト一覧から(複数のプロジェクトを選択可) プロジェクト詳細画面から
- スキャンデータを選擇後、【ZIPを作成】を選択します
- ZIP作成成功の画面で、転送先【モバイル】または【USB】を選択します
- モバイル(ワイヤレス転送)
モバイル端末でQRコードを読み取り、FlexNXと接続します。接続後【次へ】を選択します
この画面で、再度QRコードをスキャンするとブラウザにて、ZIPファイルが準備できました画面が開かれます。
青いボタンを選択し、ZIPファイルをダウンロードします

USB転送
画面の手順に従ってUSBを挿入してデータを出してください